

2015（平成27）年度 事業報告書

2015（平成27）年4月1日から 2016（平成28）年3月31日まで

特定非営利活動法人 Uビジョン研究所

1 事業の成果

今年度は、公益財団法人の認定に向け理事を始め、職員一同取り組んで参りましたが、結果的に「不認定」となることは99%だとヒヤリングで言われました。まだ、正式に「不認定」の通知は届いていません。認証という事業の性質からより社会的信頼が高いとされる公益法人へ移行することは「認証を受ける法人側にとってもメリットが高い」、「利用者や市民にとっても信頼が高い」、「寄附控除の優遇措置や税制優遇措置が受けられる」、「行政との連携が取りやすい」という理由からでした。しかしながら、結果が不認定であっても、Uビジョン研究所は特定非営利活動法人として利用者の人権を守るために、より高い使命を持って事業や活動を続けるということに変わりはありません。

財政面においては、今年度から法人会員や認証施設に対して特典を大きくし、研修を受けやすくする対策を取ったこともあり、1件に対して利益は少なかったが研修を受けやすくするという貢献はできたことと大きな減少にはつながらなかったことは一定の評価につながるものと思われまます。

2014（平成26）年度策定した中長期計画の短期計画（2017年度まで）の達成状況については、3年計画（2017年度）の中の認証施設10施設に対し、8施設であった。アワード制度の実現のための基金は寄附金（うち、1回につき150万円）で充当することについて、増えつつあります。基礎財産1800万円に関しては、今年度も何とか黒字になったので、現在900万円に200万円増やすことができる見込みです。

事業においては、認証における審査は第2回目となる社会福祉法人天雲会で実施し、第1回目よりも「最優秀」が1つ増えたことは日本にとっても評価すべき内容です。

施設評価は1件で、神奈川県社会福祉法人「プレマ会」特養ホームみなみ風で実施しました。全体評価としてはとても優れた施設で、認証取得につながることを期待しています。

講師派遣は年契約が7件、単発の依頼が14件ありました。介護付き有料老人ホームからの研修はホームページで検索してからの依頼でした。

ホームページは今後、Uビジョンの活動を広く知ってもらうためにも重要だと考え、今年度の事業計画と予算には入っていませんでしたが、運営会議に諮り、100万円の補正予算を計上しました。Uビジョン研究所の活動が誰からも見えるようにすることと認証施設の認知、さらに、介護施設で働く職員の地位向上に役立つようにリニューアルしました。

トップマネジメントセミナーは熊本県龍生園で開催し多数の参加者がありました。人数が多かったため施設内見学や食事に施設側は対応に苦慮しながらも参加者の評価は非常に高く、龍生園の職員に感謝します。

市民セミナーはUビジョン創設以来初めての試みでした。新聞に掲載され、福岡などから場所が遠くて参加できないなどの電話がありました。参加者は少なく、今後、開催するときは工夫が必要と思いました。

出版事業は、セミナーの不調によりPRの機会が減少したものの3月に入って、介護保険改正に伴う基準などの見直しがあり、改訂版を出すにあたり施設運営の様式集の名称を「運営基準の順守・加算の要件の満たし方CD-ROM版」に変えて発行しました。認証施設や法人会員にはコンプライアンスを守る支援をするために無料で提供しました。PRが不十分なこともあり注文は多くはなかったが、作成のための経費はかかっていないため収益率は高くなりました。

評価者養成検討会を4回開催した。需要と供給が見合う状況になったことを受けて2016年5月から実施する方向で実施要綱を作成することができました。

制度への提言書等については、厚労省へ4つの要望書、その他1ヶ所に提出しました。粘り強く市民の立場で主張することが利用者を守ることにつながるため今後も根気良くこのような活動を続けていきます。

運営会議は8回行った。例年より多かったのは公益財団法人取得に向けて確認・決定しなければならない事項が多くあったためでしたが、運営委員と情報の共有が図られました。

会費は法人賛助会員が11法人、個人賛助会員は26人、正会員12人で、会員費

は前年度より430,000円増えました。寄附者数と寄附金は、努力の成果があり増加しました。

事業支出においては、人件費が減少した。職員の一人が出産後も保育園に入らず一時保育で約月6回程度、1回につき3時間～4時間勤務という状態が続いています。現在の業務バランスにおいては、その分の負担が非常に大きくなったということもなかったため、補充を積極的にしませんでした。他の職員への負担はあったものの残業するほどではありませんでした。その他の経費においても節約を心がけ大きな支出はありませんでした。

上半期は収支が厳しい状況に置かれていましたが、下半期でそれを解決できました。公認会計士のアドバイスによって、法人税の見直しができ大幅に税金の支払いが減少しました。さらに、これまですべての事業を収益事業として法人税を支払ってきましたが、一部の事業が非収益事業として認められることがわかり、5年に遡って控除になったことはUビジョンにとって活動に反映できる金額になりました。

2 事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に係る事業

事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲及び人数	事業費の金額(千円)
認証事業	認証審査：龍生園 抜き打ち調査：ケアハウス中山ちどり、ケアホーム中山ちどり、風の村の3ヶ所	2015年6月29日～7月1日 10月1日 11月25日	施設	4名 3名 2名	主に当該施設利用者・施設職員・地域住民等	679
施設評価	施設評価：みなみ風	11月29日～11月30日	施設	3名	主に当該施設利用者・施設職員・地域住民等	205

講師派遣	祝の郷、豊寿園、風の村、柏こひつじ園、花へんろ、みずほ苑、介護付き有料老人ホームヒューマンライフサービス、台東区社会福祉事業団など。	年間契約 7施設 単発14回	各施設内	1名	主に当該施設利用者・施設職員・	1,376
教育・研修 (セミナー)	トップマネジメントセミナー 市民セミナー	10月23日 1月17日	龍生園 オリンピックセンター	3名 7名	施設長及び職員 地域住民	226
出版事業	①施設運営様式集・マニュアル・キャリアパスCD-ROM版の販売 ②記録ワークブック、職員教育ハンドブック、施設ケアプランガイドブックの販売	随時	Uビジョン研究所	3名	主として施設職員	8

(2) その他の事業

事業名	事業内容	実施日	実施場所	従事者の人数	事業費の金額 (千円)
なし					